

2026

患サポ通信

5月

— ささえちゃん便り —

第 145 号



ささえちゃん

～ リハビリテーション科専門外来のご紹介 ～

当院リハビリテーション科専門外来には、4つの専門外来があります。患者様をご紹介いただく際（事前予約申込時）に、既に専門外来区分が判明していれば、診療情報提供書にその旨を記載願います。ご紹介時にご不明の場合でも、事前診察申込書内の受診希望科欄を「リハビリテーション科」にて送付いただけましたら、こちらで確認いたします。（文責：林）

～ 申込方法～

事前診察申込書と診療情報提供書を FAX にてお送りください。患者サポートセンター病診連携宛
FAX 番号 024-547-1075
（事前診察申込書は当院患者サポートセンターHP からダウンロード可能です）

装具外来

リハビリテーション科では、装具外来を設け、患者さん一人ひとりの身体機能や生活環境に合わせた装具の評価・作製・調整を行っています。
「歩きにくさがある」「装具を作りたい」「生活場面に合わせた調整をしたい」等
ご相談したいことがありましたら、ぜひ装具外来をご利用ください。

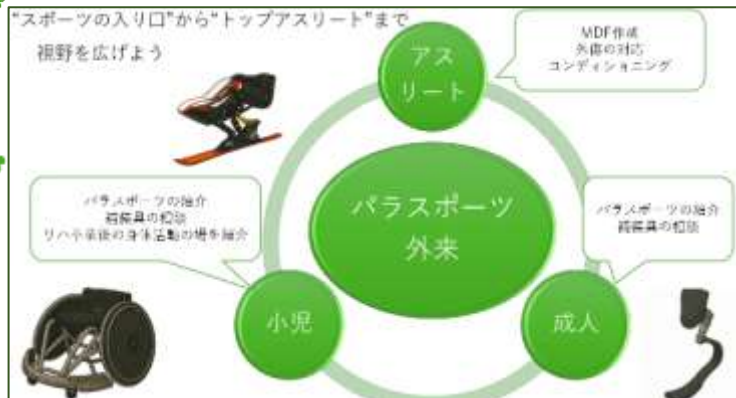
ボツリヌス治療外来

脳卒中・脊髄損傷・神経疾患による上肢下肢の痙縮（筋肉が固くなること）で起こる尖足や握りこぶし変形などや痙性斜頸に対するボツリヌス治療を行っています。痙縮を改善することで日常生活動作の向上を図ります。お困りの方は紹介状をご用意の上ボツリヌス治療外来をご利用ください。



パラスポーツ外来

パラスポーツ外来では障がいのある方が安心してスポーツを始め、継続できるよう「スポーツ導入支援」を中心に行います。身体機能や健康状態、生活背景、興味に合わせて、競技の紹介、目標設定、基礎体力づくり、トレーニングメニューの提案、セルフコンディショニング（ウォームアップ・クールダウン、予防プログラム立案、セルフケア）の指導を実施します。



嚥下リハ外来

食事中にむせたり咳き込んだりする、固いものが食べにくい、飲み込みにくい、微熱が続くなど嚥下障害が疑われる場合原則的に入院患者さんを対象に、医師や言語聴覚士など多職種がチームを組んで診療にあたっています。
嚥下内視鏡検査や嚥下造影検査による評価を行い、食事調整、摂食方法の指導やリハビリテーション治療を行っています。



児童虐待対応研修会を開催しました

R8年 5.18(月)17:15～ 講堂にて 参加 92名 (うち外部の方 18名、学生 2名)

講師 加賀谷記念小松こども医院(秋田県秋田市) 院長 米山 法子 先生

内容 BEAMS stage1 「虐待の早期発見の重要性と対応」



医療機関向け虐待対応プログラム BEAMS stage1

加賀谷記念小松こども医院 米山法子



児童虐待対応委員会委員長(小児科)郷教授による座長のもと、米山法子先生にご講演をいただきました。スライド表紙の通り、私たち福島県の様子・魅力を散りばめてくださった内容の親しみやすい講演でした。配付資料である BEAMS stage1 の冊子の利用方法も詳しくご説明いただきました。

※ BEAMS:医療機関向けの虐待対応プログラム
Stage1:すべての医療関係者向け



お声もはつらつ！演台にてのご講演ではなく、快活にカラダ全体でのご講演をいただきました！
米山先生 ありがとうございます。 文責:鈴木

研修会では、米山先生のご講演前に 小児科 鈴木雄一 先生より、当院児童虐待対応委員会の取組について紹介がありました。

<編集後記>

～ 連携登録医の先生方 ・ 各医療機関連携の皆様 ～

当院では「ふたり主治医制」を推進しております。症状が安定した患者様を受入していただける医療機関様へお繋ぎしてまいります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

患者サポートセンター(医療連携・相談室) 文責:鈴木

【発行元】公立大学法人福島県立医科大学附属病院 患者サポートセンター (きぼう棟1階)

【連絡先電話】 (代)024-547-1111

Email:tourokui@fmu.ac.jp

(直通) 外来受診申込:024-547-1074 入退院支援:024-547-1073 転院相談:024-547-1054

連携登録医関連:024-547-1818 セカンドオピニオン:024-547-1026

※電話番号登録をしていただいている医療機関様におかれましては、恐れ入りますが上記をご確認の上お電話をいただけますと幸いです。ご理解とご協力をお願いいたします。

